

契約について理解しよう

■ 生活の中の契約を考えてみよう

問1 下の①～⑥は契約にあたりますか？

- ① ICカードを使って電車に乗る
- ② 自動販売機でコーヒーを買う
- ③ ネットでショッピングする
- ④ 家族に小遣いアップをお願いする
- ⑤ 病院で診察を受ける
- ⑥ スマホで音楽をダウンロードする



問2 コンビニで買い物をするとき、「契約」は次の①～④のいつ成立しますか？

- ① お客A「これください」とジュースをレジに置く
- ② 店員B「220円です」とレジの操作を始める
- ③ お客A「これでお願いします(1,000円)」と代金を支払う
- ④ 店員B「ありがとうございます」と商品とお釣りを手渡す



問1 の答え ①②③⑤⑥ は「契約」です。④ は約束です。

問2 の答え ②「レジの操作を始める」ときに成立します。

■ 「契約」とは…

経済社会における取引の法的な責任(拘束力)が発生する約束のことです。誰もが、毎日の生活の中でさまざまな「契約」をしています。

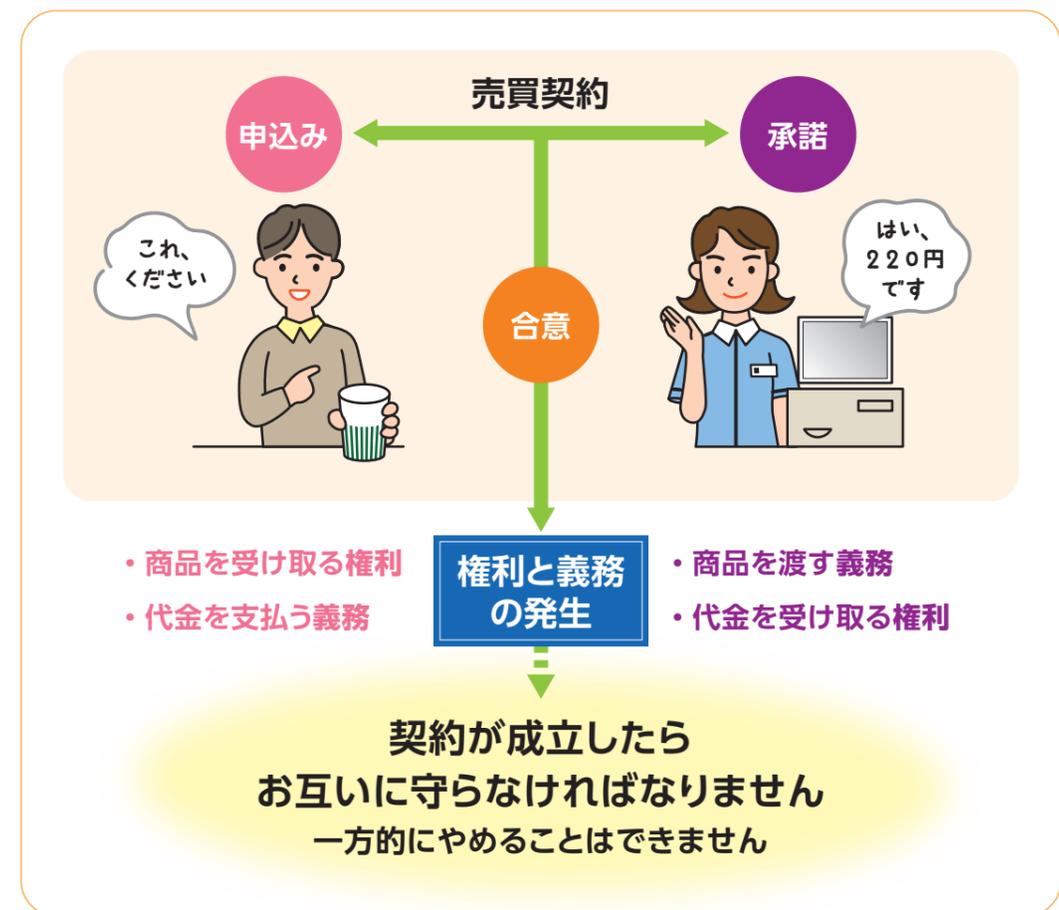
● 契約は当事者の自由な意思で行える(契約自由の原則)

①～④すべてを当事者間で自由に決めることができます。

- ① 契約を結ぶかどうか
- ② 誰と契約を結ぶか
- ③ どのような内容にするか
- ④ どのような形式にするか

● 「契約」の成立

「契約」はお互いの「申込み」と「承諾」の意思表示の合致(合意)によって成立します。



・ 合意があれば口約束でも成立します。

・ 契約書は、契約の内容を明らかにしておくことでトラブルを避けるために残すものです。(ただし法律で交付が義務付けられている場合もあります。)

契約書は、よく読み納得してからサインしましょう。